

2025年7月31日

イベント通知

取り組み



＼自由研究にもぴったりの研究体験イベント！／

「生きものの行動観察博士になろう！」開催

【8/21(木)・22(金) 各日 9時～@ NIFREL(ニフレル)】

❖ 概要

大阪大学大学院人間科学研究科比較行動学研究室では、野生動物や飼育動物の行動と社会を研究しています。このたび、株式会社海遊館が運営する、生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」と協働して、2025年8月21日(木)、22日(金)の2日間、大阪府吹田市「EXPOCITY」で生きものの行動観察をテーマにした研究体験イベント「生きものの行動観察博士になろう！」を開催します。

本イベントは、生きものの行動観察を通して生きものへの理解を深める、「動物行動観察研究」を一般の方々に体験していただくイベントです。ニフレルに暮らすワオキツネザルの行動を観察・記録・分析し、その生態や個性の魅力を発見していただきます。記録用紙と鉛筆とストップウォッチだけで本格的な観察研究を体験できる、夏休みの自由研究にもぴったりの内容です。本イベントを通じて、生きものをじっくり「観る」ことの楽しさに気づき、生きものへの興味関心がより深まることを目指しています。



当日は、メディアの方に、イベントの様子を取材していただくことができます。つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願いいたします。

❖ 研究体験イベント「生きものの行動観察博士になろう！」概要

【開催日時】 2025年8月21日(木)、22日(金)

各日9:00～10:30

【開催場所】 NIFREL(ニフレル)／大阪府吹田市「EXPOCITY」内

【対象】 8月21日(木):小学生と保護者:10組(1組2名様まで)

8月22日(金):中学生以上:10組(1組2名様まで)

【参加費】 無料 ※別途ニフレル入館料が必要です

【応募方法】 ニフレルホームページからメールにてご応募ください

ニフレル HP:<https://www.nifrel.jp/eventnews/2025/07/-8172.html>

【締め切り】 2025年8月9日(土)

【イベント参加のお問合せ】 NIFREL 事務局 0570-022060(ナビダイヤル)



観察の様子(昨年開催時)



記録集計後の振り返り(昨年開催時)

参加者はニフレルのユニフォームを着て観察をしました。

❖ イベント詳細

本イベント参加者は、大阪大学大学院人間科学研究科の教員と大学院生から生きものの行動観察の方法を学び、その後、実際にワオキツネザルの観察と記録を体験し、1頭ごとの個性や行動の傾向を分析します。イベント中は、人間科学研究科の大学院生が参加者1組に1人ずつ付き添い、観察や記録のサポートをしますので、お子様でも安心して研究体験をお楽しみいただけます。

《イベントの流れ》

① 行動観察研究とは？

観察する際のポイントや、記録方法を学びます。

② ワオキツネザルを実際に観察！

館内2F「うごきにふれる」ゾーンで、参加者1組につき1頭のワオキツネザルを観察します。エサを食べる、ジャンプして移動する、日光浴をする、などの行動がいつ・どのくらい見られるのか、記録用紙に記入しながら観察します。

③ 記録の集計・分析

全10頭の行動の傾向や特徴を、観察結果をもとにキュレーター(ニフレルの飼育展示担当者)とともに振り返ります。行動観察が、ワオキツネザルの社会の理解と動物福祉に利用できることが理解できます。

❖ 大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科について

大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科は、1972年に設立された日本で最初の「人間科学部」です。万博記念公園の北側、1970年の大阪万博の跡地に、人間科学部の建物があります。動物の行動観察を通して人間の進化について考える比較行動学をはじめ、解剖学、神経生理学、社会心理学、認知心理学、発達心理学、社会学、教育学、哲学、文化人類学、共生学など多くの研究室が「人間とは何か」という問いに理論と実践から取り組んでいます。

❖ ニフレルとのこれまでの取り組み

大阪大学大学院人間科学研究科とニフレル(株式会社海遊館)は、2024年に学術交流協定を締結しました。観察を通して動物の行動を科学的に解明する人間科学研究科と多種多様な生きものを間近で観察することができるニフレル、双方の特徴を活かし、共同研究や合同ゼミを実施しています。ニフレルではこれ

までに、ワオキツネザルのほか、イリエワニやミニカバ、フグの仲間などにも行動観察の手法を用い、エサのよりよい与え方や成育比較などの研究を行ってきました。展示生物の生態や心情を彼らの行動から科学的に理解することは、生きものたちによりよい環境で暮らしてもらうための日々の工夫に繋がっています。

❖ 生きているミュージアム「NIFREL」施設概要

【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:土井啓行)
【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元博之)
【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内
【営業時間】 平日 10:00~18:00
 土・日・祝 9:30~19:00



※8月24日までは夏休み期間により変動するため
ニフレルホームページをご確認ください。

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

【休 館 日】 年中無休 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】

・展示ゾーン 合計8ゾーン

(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる)

・ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m²・112 席)

・ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐 車 場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)

❖ 取材申込について

※本イベントについて、ご取材いただける際は、**会場準備の関係上、8月20日(水)正午までに、以下連絡先にご連絡をお願いします。**

(株)海遊館 生きているミュージアム NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL: 06-6876-2204 (平日 9:00~17:30)

E-mail: nifrel.pr@nifrel.jp

アクセス: <https://www.nifrel.jp/guide/access.html>

❖ 共催・後援

本イベントは、大阪大学大学院人間科学研究科とニフレル(株式会社海遊館)の共催です。また、人間科学研究科附属未来共創センター・IMPACT オープンプロジェクトの後援を受けています。

<[IMPACT・オープンプロジェクト|大阪大学大学院 人間科学研究科 附属 未来共創センター](#)>

